

## 平成 26 年度青森市子ども会議（松本市との交流会）開催概要

- 1 日時 平成 26 年 10 月 12 日（日） 17 時 00 分～19 時 00 分
- 2 場所 アウガ 5 階 研修室
- 3 出席者 平成 26 年度青森市子ども会議委員 9 名（欠席者 22 名）  
平成 26 年度青森市子どもサポーター 1 名（欠席者 2 名）  
事務局 4 名  
松本市子ども会ジュニア・リーダー 1 名  
松本市職員等 2 名
- 4 活動内容
  - ・「地方自治と子ども施策」全国自治体シンポジウムでの「青森市子ども会議」の取組報告
  - ・「地方自治と子ども施策」全国自治体シンポジウムでの取組報告のために来青した長野県松本市ジュニア・リーダーとの交流会
- 5 開催概要

10 月 11 日（土）と 12 日（日）に、青森市荒川にある青森県総合社会教育センターにおいて、「地方自治と子ども施策」全国自治体シンポジウムが開催されました。

このシンポジウムは、全国の自治体職員や子どもに関する専門家、NPO 等が集まり、子どもに関する取組等について報告したり、勉強したりするイベントで、毎年 1 回、全国のどこかで開催されているものです。

今年も、青森市での開催となったこともあり、「子ども参加」というテーマの分科会において、「青森市子ども会議」の取組について報告を行なうこととなっていました。

もちろん、報告を行なうのは、子ども会議の活動を長年続けている高校 2 年生のベテラン子ども会議委員、この日のために、報告原稿を準備し、全国各地の自治体職員等が参加する中、「青森市子ども会議」の発足の経緯やこれまでの取組事例、「青森市子どもの権利条例」との関係などを報告し、「青森市子ども会議」の存在を他の自治体等にアピールしました。

同じ「子ども参加」の分科会には、平成 25 年度にこのシンポジウムを開催した、長野県松本市子ども会ジュニア・リーダー（高校 2 年生）も自分達の活動を報告するため参加しておりました。当初、3 名のジュニア・リーダーが参加する予定だったのですが、諸事情のため 1 名だけの参加となっていました。

実は、このシンポジウムが終わった後に、それぞれの市で子どもの立場から積極的にまちづくり等に参加している子どもどうし、松本市子ども会ジュニア・リーダーと青森市子ども会議委員で交流会を開いたものです。



予定時間より1時間くらい早めに子ども会議委員が集まり始め、会場の飾りつけや軽食などの、歓迎準備を行ないました。

シンポジウム終了後、松本市子ども会ジュニア・リーダーが到着し、午後5時から交流会が始まりました。

交流会の進行は、シンポジウムで「青森市子ども会議」の活動報告をし、ベテラン子ども会議委員が務め、まず、それぞれ自己紹介を行ないました。

自己紹介終了後は、テーマなどを決めず、軽食をとりながら自由に歓談しました。それぞれの活動内容の紹介や、青森の高校のほとんどは制服があるのに対し、松本の高校の多くは制服がないなどの文化の違い等の情報交換、子ども会ジュニア・リーダーによる、子ども会でよく行なうゲーム等を皆で行なうなど、交流会はとても盛り上がりました。



当初1時間程度で予定していた交流会でしたが、とても盛り上がったので交流の時間を1時間延長し、7時頃に交流会を終了しました。

シンポジウムでの報告でお疲れのところ、青森市子ども会議委員との交流会に参加していただいた、長野県松本市子ども会ジュニア・リーダーや松本市職員の皆さん、本当にありがとうございました。

子ども会議委員たちも、他市の子どもと交流できたことを大変喜んでおり、機会があれば今度はこちらから松本市に交流しに行きたいと話しておりました。

